

オラペネム

内服

分類	抗生物質
一般名	テビペネム ピボキシル (T B P M)
効果・ 効能	・細菌を殺し、感染症を治療する薬剤です。(ほかの抗生剤が効きにくい肺炎、中耳炎などに使います。)(カルバペネム系抗生物質)
気をつけてほしい副作用	・乳幼児は低血糖をおこすことがあります。とくに長期に使うと発生しやすくなります。服用中に意識低下(フラフラする、グッタリする、体をピクつかせるなど)、けいれんなどがおきたときにはすぐに受診して下さい。(構造式にピボキシル基をもつ抗生物質に共通。二次性低カルニチン血症をおこすため)
ほかに注意してほしいこと	・バルプロ酸ナトリウム(デパケン、てんかんの治療薬)との併用はできません(血中濃度が下がり、けいれん発作を起こしやすくなるため)
メーカー	Meiji Seikaファルマ(株)

●お薬のことで分からないことや心配なことがありましたら、医師や職員にお伝え下さい。

2018/08

塚田こども医院

☎025-544-7777